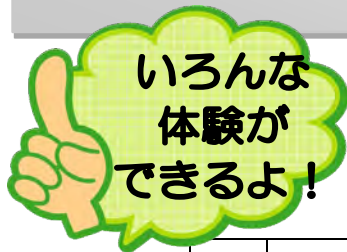


西都原考古博物館少年団 団員募集!



「古代のくらしを楽しく学ぼう」

1	博物館を探検しよう!	6月16日(日) 13:00~15:00
2	考古学を学ぼう! 「埴輪について調べよう」	7月27日(土) 13:30~16:00
3	古代衣装をつくろう!	8月18日(日) 13:30~15:30
4	石器をつくろう!	9月8日(日) 13:30~15:30
5	まが玉をつくろう!	10月13日(日) 13:30~15:30
6	まが玉ペンダントをみんなにつくって もらおう!	11月3日(日) 9:30~15:00
7	古代食を食べよう!	12月1日(日) 10:00~14:00
8	土器づくりをしよう!	1月26日(日) 10:00~12:00
9	土器を野焼きしよう! (雨天中止)	2月16日(日) 10:00~16:00
10	1年間の活動を振り返ろう!	3月7日(土) 10:00~12:00

※内容によっては活動時間が変更になる場合があります。

お申込み・お問い合わせ (担当 田中・加藤)
TEL 0983-41-0041



宮崎県立西都原考古博物館
Saitobaru Archaeological Museum of Miyazaki Prefecture

令和元年度

「県立西都原考古博物館少年団」団員 募集要項

1 ねらい

- ① 豊かな自然と共存してきた古代の人々の生活や知恵を調べ学習や体験活動をとおして学びます。
- ② さまざまな古代体験をすることにより、考古学に関する興味・関心を高め、文化財の保存と活用についての意識を高めます。
- ③ 異年齢間の交流や体験活動をとおして、子どもたちの社会性や豊かな人間性を育み、協調性を身につけるとともに、思いやりの心を養います。

2 主 催 県立西都原考古博物館

3 年間テーマ 「古代のくらしを楽しく学ぼう」

- 4 日時・内容 ○ 年間10回
○ 全ての活動日に参加できなくても申し込みは出来ます。申し込みの際にご相談ください。
○ 内容によっては活動時間が変更になる場合がありますので、事前にお知らせします。

回	活 動	日 時	内 容
1	博物館を探検しよう！	6月16日(日) 13:00~15:00	結団式、オリエンテーション、博物館・体験館・古代復元住居見学、記念撮影
2	考古学を学ぼう！ 「埴輪について調べよう」	7月27日(土) 13:30~16:00	小中学生対象講座と一緒に活動 埴輪についての学習をして、埴輪を作る
3	古代衣装をつくろう！	8月18日(日) 13:30~15:30	オリジナルの古代衣装を作る
4	石器をつくろう！	9月8日(日) 13:30~15:30	石ヤリ、石包丁を作る
5	まが玉をつくろう！	10月13日(日) 13:30~15:30	まが玉をつくる
6	まが玉ペンダントをみんなにつくってもらおう！	11月3日(日) 9:30~15:00	古墳まつりに参加する (まが玉づくりのブースを自分たちで運営)
7	古代食を食べよう！	12月1日(日) 10:00~14:00	石器・土器を使った古代食をつくる
8	土器づくりをしよう！	1月26日(日) 10:00~12:00	オリジナルの土器を作る
9	土器を野焼きしよう！ (雨天中止)	2月16日(日) 10:00~16:00	1月に作った土器を野焼きする (雨天中止)
10	1年間の活動を振り返ろう！	3月7日(土) 10:00~12:00	これまでの体験の振り返り、解団式(午前) (午後：講座「西都原古墳群を歩く」)

5 場 所 県立西都原考古博物館、古代生活体験館、西都原古墳群周辺

6 募集対象・定員 小学校4年生以上、中学校3年生まで、定員20名
(応募者多数の場合は調整する場合があります。)
※ なるべく、全10回参加できる児童・生徒

7 参 加 費 2回目以降、材料費が必要になります。

8 申し込み方法等

- ① 6月7日(金)午後5時までに保護者の方が電話で考古博物館に申し込んでください。
- ② 申し込みの際に名前、性別、年齢、学校名、学年、住所、電話番号をお知らせ下さい。また、健康面等で留意することがありましたら、お知らせください。これらの情報(住所録などを含めて)につきましては、少年団活動以外には使用いたしません。また、1年間の活動終了後は廃棄いたします。
- ③ 第1回目の活動の連絡は6月12日(水)までに電話で保護者の方にお知らせします。

9 持参するもの

- ① 筆記用具・ノート
- ② 水またはお茶
- ③ その他
(参加費、弁当などその都度事前に連絡)

10 お問い合わせ先・担当者

〒881-0005 西都市大字三宅字西都原西 5670 番
TEL: 0983-41-0041
担当：学芸普及担当 田中 敏雄
加藤 徹